

I 【適格合併等による利益積立金額の引継】WSで適格合併等の引継分から戻入分を控除した残額を入力する例

■メニュー401の[その他有価証券の評価差額の別表調理]WS

(R04)その他有価証券の評価差額の別表調理

ファイル(E) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

別表4・5(1)

1: 千代田製造株式会社 【令和4年度】

【その他有価証券の評価差額を純資産の部に計上した場合の別表5(1)の記載内容】

勘定科目名	前期末残高	期首戻入額	当期末残高
その他有価証券評価差額金(E)	277,520,000	277,520,000	346,900,000
別表五(一)の摘要	期首利益積立金①	当期の減② (前期分戻入額)	当期の増③ (当期末計上額)
その他有価証券(評価益)	-400,000,000	-400,000,000	-500,000,000
その他有価証券(評価損)			
繰延税金資産(評価差額分)			
繰延税金負債(評価差額分)	122,480,000	122,480,000	153,100,000
その他有価証券評価差額(F)	277,520,000	277,520,000	346,900,000
差異確認(E-F)	0	0	(※1) 0

※1 会計上と税務上の差額が0円になることを確認します。

1. 「その他有価証券評価差額金(E)」欄に会計上の金額を入力することにより、申告調整データと差異がないかが「差異確認(E-F)」欄で確認できます。
2. 「その他有価証券」の評価益はマイナス金額で入力、評価損はプラス金額で入力してください。

■メニュー301の[5(1):適格合併等による利益積立金額の引継]WSの[税効果会計の調整額の入力]ボタンの[その他有価証券の評価差額の内訳]タブ

(R04)5(1): 適格合併等による利益積立金額の引継

ファイル(E) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

1: 千代田製造株式会社

2. 税効果会計の調整額を入力してください。

繰延税金資産等の内訳	その他有価証券の評価差額の内訳	繰延税金負債等の内訳
(2)金融商品会計基準に基づく「その他有価証券」の評価差額等を入力してください。		
行	区 分	金 額
1	その他有価証券(評価益)	
2	その他有価証券(評価損)	
3	繰延税金資産(評価差額分)	(※2)
4	繰延税金負債(評価差額分)	
5	その他有価証券評価差額	

※2 適格合併等の引継分について戻入分を減算する欄がないため、適格合併等の引継分から戻入分を差し引いた残額を入力します。洗替えで期首残をそのまま減算とした場合、当該欄には入力する金額はありません。

「その他有価証券」の評価益はマイナス金額で入力、評価損はプラス金額で入力してください。

- (左記例) 適格合併等の引継分の金額は、以下Ⅱの例とあわせて、紫色の金額と仮定します。
- ① その他有価証券(評価益)
 $-210,000,000$ (適格合併等の引継分) - $\{-210,000,000$ (適格合併等の戻入分) $\}$
 $= 0$
- ② 繰延税金負債(評価差額分)
 $6,430,200$ (適格合併等の引継分) - $6,430,200$ (適格合併等の戻入分)
 $= 0$
- ③ その他有価証券評価差額
 $203,569,800$ (適格合併等の引継分) - $203,569,800$ (適格合併等の戻入分)
 $= 0$

別表5(1)		【期首現在利益積立金額①】	【減②】	【増③ ※は適格合併等分】	【差引翌期首現在利益積立金額④】
その他有価証券(評価益)	12	△ 400,000,000	△ 400,000,000	△ 500,000,000	△ 500,000,000
繰延税金負債(評価差額等)	13	122,480,000	122,480,000	153,100,000	153,100,000
その他有価証券評価差額	14	277,520,000	277,520,000	346,900,000	346,900,000

※当期計上分

II 「当期の増③」の当期計上分から適格合併等の戻入分を控除した残額を入力する例

■メニュー401の[その他有価証券の評価差額の別表調理]WS

(R04)その他有価証券の評価差額の別表調理

別表4-5(1)

0000000001：千代田製造株式会社 【令和4年度】

【その他有価証券の評価差額を純資産の部に計上した場合の別表5(1)の記載内容】

勘定科目名	前期末残高	期首戻入額	当期末残高
その他有価証券評価差額金(E)	277,520,000	277,520,000	143,330,200
別表五(一)の摘要	期首利益積立金①	当期の減② (前期分戻入額)	当期の増③ (当期末計上額)
その他有価証券(評価益)	-400,000,000	-400,000,000	-290,000,000
その他有価証券(評価損)			(※1)
繰延税金資産(評価差額分)			
繰延税金負債(評価差額分)	122,480,000	122,480,000	146,669,800
その他有価証券評価差額(F)	277,520,000	277,520,000	(※2) 143,330,200
差異確認(E-F)	0	0	0

※2 会計上と税務上の差額が0円になることを確認します。

1. 「その他有価証券評価差額金(E)」欄に会計上の金額を入力することにより、申告調整データと差異がないかが「差異確認(E-F)」欄で確認できます。

2. 「その他有価証券」の評価益はマイナス金額で入力、評価損はプラス金額で入力してください。

※1 適格合併等の引継分について戻入分を減算する欄がないため、適格合併等の引継分から戻入分を差し引いた残額を入力します。

(左記例) 当期計上分の金額は、上記 I の例にあわせて、ピンク色の金額と仮定します。

- ① その他有価証券(評価益)の[当期末残高]欄
-500,000,000(当期計上分) - {-210,000,000(適格合併等の引継分(=戻入分))}
= -290,000,000
- ② 繰延税金負債(評価差額分)の[当期末残高]欄
153,100,000(当期計上分) - 6,430,200(適格合併等の引継分(=戻入分))
= 146,669,800
- ③ その他有価証券評価差額(F)の[当期末残高]欄
上記①と②の合計の逆符号 = {(-290,000,000) + 146,669,800} × (-1)
= 143,330,200
※ {(-500,000,000) + 153,100,000} × (-1) = 346,900,000(当期計上分)

■メニュー301の[5(1):適格合併等による利益積立金額の引継]WSの[税効果会計の調整額の入力]ボタンの[その他有価証券の評価差額の内訳]タブ

(R04)5(1)：適格合併等による利益積立金額の引継

1：千代田製造株式会社

2. 税効果会計の調整額を入力してください。

繰延税金資産等の内訳	その他有価証券の評価差額の内訳	
(2)金融商品会計基準に基づく「その他有価証券」の評価差額等を入力してください。		
行	区 分	金 額
1	その他有価証券(評価益)	-210,000,000
2	その他有価証券(評価損)	
3	繰延税金資産(評価差額分)	
4	繰延税金負債(評価差額分)	6,430,200
5	その他有価証券評価差額	203,569,800

※ 「その他有価証券」の評価益はマイナス金額で入力、評価損はプラス金額で入力してください。

別表5(1)	期首現在利益積立金額①	減②	増③ ※は適格合併等分	差引翌期首現在利益積立金額④
その他有価証券(評価益)	12 △ 400,000,000	△ 400,000,000	※ △ 210,000,000 △ 290,000,000	△ 500,000,000
繰延税金負債(評価差額等)	13 122,480,000	122,480,000	※ 6,430,200 146,669,800	153,100,000
その他有価証券評価差額	14 277,520,000	277,520,000	※ 203,569,800 143,330,200	346,900,000

※当期計上分